

宇治市長 山本 正 様
教育長 岸本 文子 様

「やると決めたら早く実施を」「小学校のような安全で温かく美味しい給食を」 宇治市の中学校給食の早急な実施を求めます

要望趣旨

教育委員会は2017年1月に、中学生の昼食について、これまで家庭からの持参弁当を基本としていたことを変更して、学校給食を実施する方針を決めました。しかし、中学校給食の実施の方針を決めてから1年半以上が経ちますが、具体的な中学校給食実施に向けての見通しは見えてきません。

具体化をスピードアップして、早急に中学校給食を実施することを求めます。

同時に、子どもたちが毎日食べる給食は、内容も重要です。小学校の給食の水準を維持して、安全で、温かく、美味しい中学校給食の実現を求めます。

宇治市の小学校の給食では、食材の選定からこだわって、安全な食材を使用する努力をしてきました。それぞれの学校に給食調理室があることで、一人一人の子どものアレルギー対応など、安全な給食が提供されています。季節の行事食の提供など、学校給食を活用した食育も実施されています。

宇治市の小学校給食では、民間事業者が参入しているものの、7校が市直営で給食が提供されており、宇治市全体の学校給食の質を担保するうえで大きな役割を果たしています。また、給食を実施する民間事業者が決まらなかったときも、直営校から職員を派遣して、安定的な給食提供がおこなえました。

中学校給食の実施にあたっては、コストだけに視点を向けず、子どもたちの健やかな成長を第一に考え実施方法を決定することを求めます。

要望項目

- 一、 中学校給食を早急に実施すること。
- 一、 中学校給食においては、小学校給食の水準を維持して、安全で、温かく、美味しい、全員喫食の給食を実施すること。

氏名	住所